

# ヒアリング評価を通じて得られた特に優れた事例 5

## 教育のセーフティネット・自主夜間学校「いいあす京都」運営事業

【事業費総額 3,012 千円 (WAM助成金 3,012 千円)】



学習会の様子



スタッフがマンツーマンで指導している様子

### 団体設立経緯

基礎的な学びの過程で何らかの困りを経験してきた方たちが、「国籍や学歴、年齢などに関わりなく誰でも学べる教育の場を作ること」を目指して、令和4年に団体を設立しました。

義務教育未終了者、不登校児童生徒等の学び直しや、在日外国人の日本語習得等、教育のセーフティネットとして、公立夜間中学校の補完的な役割を担う自主夜間学校を運営しています。

### 事業実施内容

自分のペースで学び直しをしたい方や、入学要件やそれぞれの事情等で公立夜間中学校には通えない方々が気軽に参加し、学ぶことができる場の運営を実施しました。

学習会は毎週月曜日と金曜日の週2回、1日2コマで開催し、小中学校の基礎的な学習範囲を中心に授業を実施しました。要望に応じて英語検定や日本語学習、音楽などについても学習支援を行っています。登録者は生徒約60名、スタッフ約80名となっており、中には、京都市外から通われている方も多くいます。利用者とスタッフは、単に「学ぶ」「教える」といった関係性ではなく、共に同じ方向を目指す「ランナーと伴走者」という関係を目指し取り組みました。スタッフは大学教員や教員の現職・元職、大学生などがボランティアとして多く集まったことにより、利用者のニーズに応じた幅広い学習支援をすることができました。

### 事業成果

学習会には1回約20名ほど、延べ約1,360名の参加がありました。また、ボランティアスタッフは、毎回学習者を上回る参加があり、延べ人数は約2,788人となりました。

利用者の進度に合わせてカリキュラムを設定し、利用者が納得するまで何度も取り組むことで、利用者のニーズに沿った質の高い支援を実施することができました。

### 同事業に対する評価

利用者の学習進度や特性に合わせてスタッフを配置し、マンツーマンで指導にあたることで、細やかな学習指導ができていること、また、利用者の学習へ向き合う姿勢にも変化をもたらしたことから、利用者のあらゆるニーズを満たした事業を実施されたと評価しています。

マスコミへの掲載にもつながったほか、講演会や研修会等の普及啓発の活動を通して、貴団体の活動が広く認知されてきており、行政や連携先の理解や協力も着実に進んできていますので、支援の継続と更なる事業の拡大に期待しています。

自主夜間学校 「いいあす京都」  
(京都府京都市)

U R L  
<http://www.e-as.school/>

